

地域情報

地域へのお知らせ(非営利)を無料で掲載します。ご希望の方は、内容・連絡先を明記し、右記宛先にお寄せください。(紙面の都合上、掲載が出来ない事もございます)

さわやかちば県民プラザ ☎7140-8600

- 鉄道模型運転会 3/16(土)13:00~17:00
- プログラミング学習会 3/17(日)10:00~11:50

県立柏の葉公園 事務所 ☎7134-2015

- 駐車が混みます
- ドッグフェスタ2024 3/16(土)・17(日)10:00~15:00
- ストレッチング講習会 3/22(金)14:00~15:30
- 緑の講習会「バラの年間管理」4/17(水)13:30~15:30
- 柏の葉ウォーキングクラブ 3/31(日)10:00~16:00

- ストレッチング講習会 3/22(金)14:00~15:30
- 緑の講習会「バラの年間管理」4/17(水)13:30~15:30
- 柏の葉ウォーキングクラブ 3/31(日)10:00~16:00

当店HPではカラー版をご覧いただけます

QRコード



〒270-0103
流山市美原4-1212-4
ASA江戸川台・運河店
グッド・モーニング編集室
TEL.7156-2539

- 柏の葉健康コース 3/21(木)、松葉町(7km)、200円
- ポール&ノルディック・ウォーク教室 3/26(火)、500円、ポールレンタル100円
- ウオーキング教室 4/2(火)、7km、200円
- まちの健康研究所あした 3/19(土)19:00~21:00
- 食ミニ講座「春キャベツ」3/26(火)10:30~11:00
- 肩・腰・ひざの相談室一般講座「体が伝える痛みのサイン&体への向き合い方」3/27(水)10:30~11:30
- 北部公民館 3/21(木)9:00~10:00
- なかよしひろば「リトミック」3/20(水・祝)10:00~11:30
- エンジョイ マットス 3/20(水・祝)13:00~14:30
- かんたんハンドメイド「布で作るブローチ」4/10(水)13:00~15:00
- パン祭り 3/23(土)・24(日)10:00~16:00
- 柏の葉おみせマルシェ 3/31(日)10:00~16:00

流山おもちゃ病院 問HPより

- ★江戸川台児童センター 3/15(金)9:30~11:00
- ★森の図書館 4/13(土)13:00~15:30
- ★プラレール広場 4/13(土)13:00~14:20
- ★森の図書館へ電話、先着順

ギャラリー平左衛門

- 二胡に夜桜ライブ 3/25(月)17:40~(約60分)
- G蔵〜クラシックギター演奏会 3/30(土)11:00~15:00

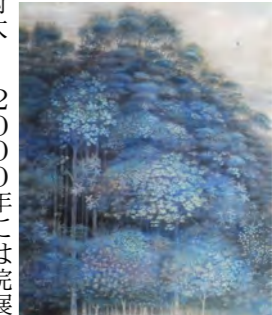
その他

- 高齢者各種講座の作品展 3/14(木)~16(土)9:00~16:30
- カウンセラーによる聴き方講座 3/15(金)10:30~12:00
- 青空マルシェ 3/15(金)11:00~12:00
- パソコン無料体験講座「Word・Excel・PowerPoint」3/19(火)9:30~11:30
- 流山北部子ども食堂ネットワーク「進級進学お祝いイベント」3/20(水・祝)12:00~15:00
- 自然観察会「早春の生きもの観察会とヨシゴイを待つ準備(ごみ拾い)」3/24(日)運河駅9:00集合
- 花と史跡めぐりウォーキング(約5km) 3/30(土)9:00~11:30

日本画家 木下千春さん(流山市在住) 流山の自然を作品に反映



「小さい頃は、内向的だったこともあり、自分の言いたいことを好きな絵で表現していました」と語るのは、若手日本画家の木下千春さん(日本美術院招待、京都芸術大学通信教育部非常勤講師)。



作品おたかの森

北海道で生まれた木下さん。小学生の時に流山市に移り、地元の高校を卒業した後、姉弟と共にアートの道を邁進してきました。



2000年には院展に初入選。様々な賞を受賞し、個展開催や海外発表など精力的に活動しています。

日本の伝統的な絵画に創作のひらめきを感じるという木下さんの作品は「水」をイメージしたものが多く、幻想的に美しく描かれています。作品は、京葉銀行の江戸川台・おたかの森・流山各支店にも飾られています。

柏 あけぼの山公園

あけぼの山公園内のさくら山では、「ソメイヨシノ」のほか「シンダイアケボノ」約350本の桜が、例年3月下旬から4月上旬頃に咲き誇り、あけぼの山農業公園内では風車前花畑のチューリップが4月上旬から中旬頃に見頃を迎えます。

同公園では、春の花々や新緑を楽しんでもらおうと、4月6日(土)~5月6日(月・祝)まで「スプリングウィーク」を開催。現在、さまざまな催しを企画中です。

4月13日(土)、14日(日)9時30分~15時、「チューリップフェスティバル」を開催。ふるさと広場をメイン会場に、地元の農産物や花苗の販売、農業・商業団体による模擬店、消防局による演奏会(13日)や消防車の展示、お茶会(柏泉亭・14日)などが行われます。

☎0477-871331

本紙「わがまち・ふるさと再発見！」著者田村哲三氏 書籍出版へ



郷土史研究家で流山史跡ガイドの会のボランティアガイドも務める田村哲三氏。本紙連載の「わがまち・ふるさと再発見！」をまとめた書籍「流山の史跡をあるく」が、みぎわ出版より、出版することが決まりました。

まちの事件簿

- 北消防署 (連絡先 ☎7152-0119)
- ★火災(0) ★救急(276) 急病(181)、交通(15)一般(56)、その他(24) ★救助(3) 建物などによる事故

地震など大きな災害が起きるたび、義援金の振り込みを依頼する嘘の電話などが多発します。不安な時は1人で決めず、家族や警察、消費者センターに相談して被害に遭わないように気を付けましょう。 ※江戸川台・運河交番の犯罪状況2月分は来月掲載します

わがまち・ふるさと再発見!
流山のむかしを訪ねて
27 江戸時代2
小金牧1
案内役 田村哲三

徳川家康は関東に移封になると、江戸の町づくりや江戸周辺の整備に取り掛かります。その中で流山市域にかかわる事業としては、利根川の東遷事業と小金牧の設置事業がありました。

◆房総三牧と小金牧
縄文時代、地域の低地部は水深の浅い海で魚介類が採れ、人々は海辺の近くの台地に住み、生活していました。弥生時代になると水深の浅い海は湿地に変わり、稲作ができたので人々は相変わらず低地部に近い台地に住んでいました。台地の奥は人の住まない原野が広がっていたため、徳川幕府はそのような原野に馬を放牧しました。

徳川幕府は下総国に小金牧と佐倉牧、安房国に嶺岡牧を設置して軍馬の育成を行いました。

小金牧は野田市から流山市、柏市、松戸市、鎌ヶ谷市、白井市、印西市、船橋市、習志野市、千葉市、八千代市にいたる広大なものでした。小金牧はさらに庄内牧、一本枹牧、高田台牧、上野牧、中野牧、下野牧、印西牧に分かれ、流山市域は上野牧に属し、柏市の十余二は高田台牧でした(庄内牧と二本枹牧は早期に消滅)。牧には柵はなく放牧馬を野馬と呼びました。

◆牧の管理
牧の管理は野馬奉行綿貫家のもと牧士(もくし)と呼ばれる地元の実力者が実質的に担当しました。牧士は名字帯刀、乗馬、鉄砲所持が許された士分格でした。牧士は牧内を見回り、非常時の餌や水の供給も行いました。冬場は餌が不足しますし、夏場は水飲み場の水が枯れることがあるので、ところどころに飼料桶や水桶を配置。病気や怪我の手当や保護、斃馬(死んだ馬)の検視、狼や野犬、イノシシなどの駆除もあります。鉄砲の所持は狼や野犬から馬を守るために使われました。これらの役目は牧士が村人を指揮して行いました。牧士の手当は、初めは馬3匹でしたが、享保年間に5両に、牧士をまとめる目付牧士は8両に変更されました。ただ、村人への手当も含まれているので、全てが収入になったわけではありません。

出典:「ふるさと流山のあゆみ」より